

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1819	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	学校給食施設整備事業		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	教育総務部・学校教育課					
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	令和2年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	3,230千円		当該(開始)年度	(当初)	2,175千円 (うち人件費 2,175千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	思いやりのある豊かな心を育むため、人権・人間尊重の精神や社会性を育む規範意識の醸成など、人間形成のための教育を推進します。また、健康管理の大切さを意識した健やかな生活を送ることができるよう、食育や健康教育の充実に努めます。			事業目的	学校給食の円滑な実施を図るため給食施設設備の維持管理を行なう。								
(3) 事業内容	内容	給食施設設備の整備及び維持管理を行なう。学校給食施設設備は、全体的に老朽化が進んでいるため、必要性の高いところから計画的に修繕し、衛生状態の向上を目指している。給食施設整備方針の策定と方針に基づく整備を行う。			当該年度執行計画	給食施設整備方針の策定。								
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る			指標種類	指標	単位	%	想定値	100				
当該年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%	100	実績値		(5) 現況値		(6) 目標値	100			
令和3年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%						100				
令和4年度	給食施設設備の計画的な整備・維持管理を行い学校給食の円滑な実施を図る	直接	修繕・工事の実施率	%						100				
(7) 事業実施上の課題と対応	老朽化に伴う故障	代替案検討	○有 ●無											
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		なし。		0	給食方式の検討及び給食施設整備方針の策定				* 施設修繕料 ダクトフード修繕(我二小) パントリー網戸設置工事(我中) 給食施設整備方針に基づく対応	945 299		* 施設修繕料 休憩室内装修繕(湖北台中) 照明器具交換工事(我中) 給食施設整備方針に基づく対応		234 2,198
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	1,244	合計	2,432				
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
		一般財源		0		0		1,244		2,432				
		その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
		換算人数(人)		0.25		0.25		0.25		0.25				
正職員人件費		2,200		2,175		2,175		2,175						
嘱託職員報酬額		0		0		0		0						
臨時職員賃金額		0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,200		2,175		3,419		4,607						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		22千円/%		21.75千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	学校給食の安全性の確保と質の向上のため必要。法制度に対応するため必要。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	4.6	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					